
RPGの本音 光と闇の物語

夢咲白懂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

RPGの本音 光と闇の物語

【Nコード】

N4229P

【作者名】

夢咲白憧

【あらすじ】

RPG系ファンタジー

勇者は食いしん坊御馬鹿

ラスボスは何万年と生きている女帝

今から数万年前、光と闇は交わっていた。

封印された歴史の扉が今まさに壊され、徐々に明かされようとしていた。

何も知らない現代の人達はこのまま闇に吞まれてしまうのか…

始まりはいつでも突然である (前書き)

— 至らぬ点多々あるかと思いますがよろしく願いします m —
— m —

【 第0章：プロローグ 】

始まりはいつでも突然である

村人が言う。

この村に災いをもたらすモンスター達を退治してくれ……と……
正直……面倒な話だ。

いつからだろう……

俺が勇者と呼ばれるようになったのは……

そう。あれは確か……

偶々ある村に居た時の事。

その村で飯を食べてた時にこれまた偶然山賊が現れて、暴れ出した……
それを俺が止めたんだけど……

だけどね？彼等はきつと俺じゃなくても追い払えたから。

俺はただあいつ等が五月蠅くて、飯も食えなかったからね？

ちよつと文句言っただけだったのにあいつ等は一目散で逃げたわけ……

他にも違う村でモンスターをやっつけたこともあったけど……

それもさっきのと同じ変わらない。

モンスターはめっちゃめっちゃ弱かったし、あの時は空腹のあまりにモンスターと食料（獲物）の区別も出来なかっただけで……別に村の為でも何でもなかった。

まあ正直、そのお礼とか言っただけで村の人がたまに、うまい飯や感謝料何かをくれる時は俺も調子に乗って、彼等の持て成しに甘えたのは

…事実だけど…

そんなこんなでいつの間にか俺は他人から勇者なんて呼ばれてる。

…でも俺は勇者じゃない。

俺のこと、勇者なんて呼ばないでくれ…頼むから……

封印された闇の女王

人は皆、孤独を恐れ、闇に恐れる。

人も動物も、常に光を求めてさ迷う、哀れな生き物。

それは悪魔だつて闇魔だつて例外じゃない。

寧ろ我々の方が、誰よりも孤独で、誰よりも闇を恐れ、光に憧れる。

もしも…

光と闇。それ等が交わることも無く、常に隣り合わせで背を向き合っていたのなら…

孤独も闇も光も、全てを知らずに済んだのに。

妾は鏡に封印された哀れな闇の住人^{ワラワ}。

いつからだろう。

気づいた時には此処に居た。

何百年、何千年、何億年と生きている筈なのに…

長い長い眠りから覚めてから、今以降の事を何ひとつ思い出せない。

妾は過去の記憶まで封印されてしまったのか？…

誰が何の為に？

妾は鏡の裏側から、僅かに漏れた魔力を使い、鏡の中から外を眺めていた。

そう。

妾こそが、常に光を求めさ迷う、哀れな生き物だ。

「ファントム…」

その声で、その者『ファントム』は闇のように黒いマントで身を包み、顔には怪しげな仮面を付けた姿で煙のように現れた。

「お呼びでしょうか？ 我等の主」

ファントムは腰を落とし、膝を立て、頭を深く下げて言った。

「妾はなぜ此処にいる…なぜ、妾は歳を取らない？」

鏡に封印された闇の女王は自分の両手を見つめてそう言った。

綺麗な透き通りそうな程白く、美しい若々しい手。

それは何万年も生きた、生き物の容姿ではなかった。

「それはこの鏡の結界のせいで御座います」

ファントムが女王に言う。

「妾は何者じゃ？」

女王は弱々しい声で言った。

長い眠りから覚めてから毎日、同じ質問を繰り返し、女王はファントムに問いかけた。

「貴女様はこの世界の女王で御座います」

ファントムもまた、同じ質問を同じ台詞で繰り返し答える。
女王は冷たい鏡の壁を触りまた聞いた。

「ファントム？」

「何でしょう？」

女王は悲しそうにファントムに言った。

「妾は…妾は……自分の名すら思い出せんのかな……」

その問いにファントムはいつも口を閉ざす。

「なぜ…妾はこの中にいるのかな？」

「それは……」

その問いをファントムはいつもの様に答えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4229p/>

RPGの本音 光と闇の物語

2010年12月18日22時23分発行